

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
22	保険薬局・地域医療管理 学(保険薬局部門)	No.1 3枚		

問1 薬局・薬剤師に関する以下の文章の [] 内に適切な語句を解答欄の該当箇所に記入しなさい。(10点)

薬剤師は、[①]、[②] その他 [③] をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする。

薬局とは、薬剤師が [④] 又は [⑤] の目的で調剤の業務を行う場所をいう。薬局は [⑥] 法に基づき、その所在地の [⑦] の許可を受けなければ開設してはならない。

保険薬局とは、[⑧] 法に基づく療養の給付の一環として保険調剤業務を取り扱う薬局をいう。

薬局において薬事に関する実務に従事する薬剤師の員数は、その薬局における1日平均取扱処方せん数が [⑨] までは1とし、それ以上 [⑨] 又はその端数を増すごとに1を加えた数とする。ただし眼科、耳鼻いんこう科、歯科の処方せん数については、[⑩] に換算して算定する。

解答欄

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

採点	
----	--

[]

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
22	保険薬局・地域医療管理 学(保険薬局部門)	No.2 3枚		

問2 薬局における調剤、薬剤服用歴（薬歴）の管理等に関する以下の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×を [] 内に記入しなさい。（10点）

- [] 薬局における調剤の一般的な流れは、処方せん受付→処方せん点検→薬袋の作成→薬剤調製→薬剤鑑査→服薬指導・薬剤交付である。
- [] 処方せん内容に疑義が生じたが、処方医が不在だったので、患者本人に確認し了解後調剤した。
- [] 調剤報酬点数表における調剤基本料は、国内のすべての保険薬局で同じ点数を請求できるように定められている。
- [] 保険薬局では、患者インタビューなどによる情報収集のほか、処方医からの患者情報も得た上で、適切な医薬品情報提供や服薬指導を行うのが望ましい。
- [] 「お薬手帳」の主目的は、患者自身が処方・服薬情報を一元管理することにより、服用忘れを防止することである。
- [] 薬歴とは、医薬品を適正に使用するために不可欠な患者個々の薬物治療に関する情報、患者情報を時系列に集約したものであり、それらの情報を記録したものが薬歴簿である。
- [] 薬歴の管理は、薬事法、薬剤師法により定められている。
- [] 薬歴の管理は、診療報酬の中で薬剤服用歴管理料として点数化されている。
- [] 薬歴の記録方法として、POS (Problem Oriented System) 方式に基づく SOAP 形式での記録がある。
- [] SOAP 形式において S とは、Subjective data の略で、処方内容や、患者が病院からもらった紙面の検査結果など客観的データを記載する。

採点	
----	--

[]

平成19年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
22	保険薬局・地域医療管理 理学(保険薬局部門)	No.3 3枚		

問3 次の処方内容から推察される最も適切な疾患名を（ ）内に記入しなさい。(10点)

処方a ()

ベンズブロマロン錠 (50mg) 1錠
1日1回 朝食後 30日分
クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム配合剤 3g
1日3回 毎食後 30日分

処方b ()

グリベンクラミド錠 (2.5mg) 1錠
1日1回 朝食後 30日分
ボグリボース錠 (0.2mg) 3錠
1日3回 毎食直前 30日分

処方c ()

ベシル酸アムロジピン錠 (5mg) 1錠
ロサルタンカリウム錠 (25mg) 1錠
1日1回 朝食後 30日分

処方d ()

アレンドロン酸ナトリウム水和物錠 (5mg) 1錠
1日1回 朝起床時 14日分

処方e ()

ブシラミン錠 (100mg) 2錠
1日2回 朝夕食後 30日分
ロキソプロフェンナトリウム錠 (60mg) 3錠
1日3回 毎食後 30日分

採点

[]